

《イギリス研修1・2日目（2025年7月26・27日）報告書》

早稲田大学本庄高等学院と長野県立長野高等学校による連合イギリス研修が無事にスタートいたしました。

初日の集合では、ほとんどの生徒さんが集合時間よりも早く到着し、出発前から研修への期待に胸を膨らませている様子が見られました。成田空港到着後は、添乗員より搭乗に関する注意事項の説明を受けたのち、チェックイン手続きを行い、いよいよ出国となりました。チェックインおよび出国審査には想定以上に時間がかかりましたが、予想外のトラブルにも生徒さんたちは冷静に行動してくれたおかげで、搭乗時間ぎりぎりながらも全員が問題なくゲートに到着、出発することができました。

今回の研修は単なる観光ではなく、将来や海外での活躍などを見据えた「実践的な学びの場」です。生徒さんには、移動の際に必要な判断や行動を余すことなく伝えながら、知識とスキルを習得していただいています。ドーハ空港での乗り継ぎでは、搭乗券・電光掲示板の確認はもちろん、乗り継ぎゲートの探し方や空港内の移動時に注意すべき点についての指導を行いました。生徒さんは他人に頼ることなく、自分自身で情報を確認・理解し、スムーズな移動を実現してくれました。18時間におよぶフライトでは、映画鑑賞やゲームなど各自が思い思いの時間を過ごしていました。飛行機に乗ること自体が初めてという生徒さんも多かった中ですが、皆現地で時差ぼけにならないよう計画的に睡眠をとっていました。機内食では、パスタ、焼きそば、チーズオムレツ、牛肉の生姜焼きなど、豊富なメニューの中から自分の好みに合った食事を選び、楽しんでいました。

定刻通りにイギリスに到着し、入国審査、スーツケース回収もスムーズでした。日本とは異なり肌寒さを感じながらも、現地バスにて1時間ほどイギリスの景色を車窓で眺めながらブルネル大学へ辿り着きました。まず初めに、現地の大学生によるキャンパスツアーが行われ、アクティビティの集合場所、カフェテリア、購買施設、英語学習教室などを英語で案内していただきました。普段日本で使っている英語との違いに戸惑いを感じた生徒さんも多く、クインズイングリッシュが難しいという声が多く聞こえました。しかし、その経験がかえって学習意欲を高めることにつながったようで、「この後からたくさん会話をして明日のプレースメントテストに備えたい」という前向きな姿勢がとても頼もしかったです。

その後は、滞在する寮に案内され、生徒さんの考えを尊重し自由行動となりました。休息をとる生徒さんもいれば、時差ぼけがなく、存分に活動したいと体育館でバドミントンやフットサルを楽しむ生徒さんもあり、それぞれが体調に合わせて過ごしていました。

夕食やナイトアクティビティ（この日はスポーツ）では、昼間の経験を活かしながら、積極的に他国の生徒さんと交流を図る様子が多く見られました。「早くも他国の生徒さんと一緒に行動する予定を立てた」「日本人よりも外国の友人の連絡先の方が多くなった」という声も聞かれ、初日から非常に積極的に研修に取り組んでいる様子がうかがえます。

明日からは、本格的な研修プログラムが始まります。生徒の皆さんには、イギリスでの生

活を楽しみながらも、今夜はしっかりと休息をとっていただき、明日からも元気に、そして充実した研修を重ねていってほしいと願っております。

以上、1・2日目のご報告とさせていただきます。

キャンパスツアーの様子



ユニークな自己紹介タイム



昼食の様子



夕食・ナイトアクティビティでの他国生徒の交流

